

献辞

同志社大学名誉教授浅沼潤三郎教授の古稀を記念し、ここに論文集を献呈させていただきます。

先生は、一九三五年一〇月一〇日にお生まれになり、一九六一年に京都大学法学部を卒業されました。そして同年四月に同大学院法学研究科公法学専攻修士課程に進学され、一九六三年三月に同課程を修了された後、同年四月に同法学研究科公法学専攻博士課程に進学されました。その後一九六七年四月からは、同志社大学法学部専任講師になりました。以来、一九六九年からは助教として、一九七五年からは教授として、一九七八年四月からは大学院前期課程教授として、一九八一年四月からは同後期課程教授として、都合三八年にわたって同志社大学と法学部のためにご尽力いただきました。

先生は、税法の専門家として、多くの著作を公表され、学会に多大な貢献をされてきました。特に比較法的観点からの研究に精力を注がれ、一九八一年九月からは一九八三年の三月まで米国バークレーロースクール客員教授、一九八三年四月から一九八三年九月までケルン大学税法研究所客員教授として、外国税法の研究を深められました。また一九七〇年から現在に至るまで日本税法学会理事として活躍さ

れています。

学生の自主性を尊重しつつ、人一倍学生一人一人を大切にされる先生の教育姿勢は、学生を魅了し、毎年、多くの優秀な学生を輩出してこられました。特に大学院においては、これまで多くの大学院生を指導され、税理士など実務家の育成に力を尽くされました。

今後とも先生がご健勝でますますご活躍されますよう、本論文の執筆者ならびに同志社法学会一同心よりお祈りいたしております。そして、これからもわれわれをご指導・ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

二〇〇八年八月

土 田 道 夫

法 学 部 長